

部局名	安全環境部	所属名	生活安全課	所属長名	植村 昭勇	電 話	483-1151 内線3110
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3781		事務事業名称	旧市立集会施設事業						短縮コード	経常	3781	臨時	3782
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	11	地域振興費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市財務規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
昭和39年4月より八千代市公会堂条例を制定し、自治会の地域集会活動の利便を図るため、市立集会施設を設置管理してきたが、平成18年4月に八千代市公会堂条例を廃止し、今後は同施設をそれぞれの地域で自主管理する集会施設へ変えていく。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	06	計画推進のために						
指定管理者制度の制定及び、市立集会施設を利用しない自治会との均衡を図るため、公会堂条例を廃止し市立集会施設を各自治会が自主管理する集会施設へと変えていく。						大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進						
						中 項 目	01	パートナーシップによるまちづくりの推進						
						小項目（施策）	03	コミュニティづくりの推進						
						細 項 目	02	コミュニティ施設の整備						
実施計画の計画事業														
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	旧市立集会施設						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 旧市立集会施設の維持管理 北東公会堂、台町公会堂、保品公会堂解体工事 小坂橋公会堂外壁塗装・女子トイレ改修・天井アスベスト除去工事 勝田台会館事務室空調機交換工事 などの工事 5施設のアスベスト調査 普通財産となった旧市立集会施設を、集会施設として使用することを条件に地元の自治会と使用貸借契約を締結。						
	※平成21年度に計画していること： なし（事業廃止）						
意図 （何を狙っているのか）	旧市立集会施設を適切に維持管理し、地域の集会活動等に利用してもらう。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	19年度	20年度		21年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	旧市立集会施設数	箇所	14	14	14	0
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	工事・修繕を行った旧市立集会施設	箇所	10	5	5	0
	指標 2	点検を行った旧市立集会施設	箇所	14	14	14	0
	指標 3	使用貸借契約を締結した旧市立集会施設数	箇所	13	13	13	0
成果指標	指標 1	維持管理ができている旧市立集会施設数	箇所	14	14	14	0
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード		3781	事務事業名称	旧市立集会施設事業			所属名	生活安全課
			単位	１９年度	２０年度		２１年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	20,107	18,835	20,274	0	
		その他	千円	56	45	71		
	主な事業費の内訳			電気・ガス・水道料金 961千円 空調設備・消防用設備点検等委託料 933千円 施設修繕料・工事請負費 17,163千円	電気・水道料金 1,133千円 空調設備・消防用設備点検等委託料 1,601千円 施設修繕料・工事請負費 15,035千円	電気料金 1,022千円 空調設備・消防用設備点検等委託料 1,085千円 施設修繕料・工事請負費 16,734千円		
	人件費(B)			千円	9,533	9,504	9,940.3	0
トータルコスト(A)+(B)			千円	29,696	28,384	30,285.3	0	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	旧市立集会施設を維持管理し、利用してもらい、地域での集会活動等が活発になることは、自治会活動の活性化に結びつくと考える。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☒ 達成している	旧市立集会施設を地元自治会へ譲渡したことにより、平成21年度からは地元自治会が維持管理することになった。					
			☐ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある						
			☐ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい						
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等							
		☐ 臨時的任用職員等の活用							
		☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し							
		☐ 受益者負担の見直し							
		☐ 類似事業との統合・役割見直し	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)			
		☐ 上記以外の方法		2		実施主体 (所管部署)			
		⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある					
	☐ ない								

コード	3781	事務事業名称	旧市立集会施設事業				所属名	生活安全課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				☐ 改革・改善して継続		平成21年度以降、旧市立集会施設は、地元自治会が自主管理を行っていくため、事業は完了した。	
					☐ 手法プロセスの改革・改善			
					☐ 事業規模の拡大・縮小			
					☐ 統合・役割見直し			
	☐ その他							
☒ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			旧市立集会施設が地元自治会の自主管理となったことで、経費は削減となる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☒	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
集会施設が自主管理となったことで、自治会から施設維持管理費がきびしいとの声があった。									

所属長コメント	指定管理者制度の制定並びに、旧市立集会施設を利用していない自治会との均衡を図るため、公会堂条例が廃止され旧市立集会施設を利用している自治会の自主管理に切り替えられたことは、集会施設の有効な活用及び市経費の削減ができ、大きな成果があったと考える。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおりとする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☒ 廃止(事業完了含む)									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									